

保育の方法と技術	2年	前期	後期	演習1単位	担当教員名	齋藤 亮一・相澤 裕子
	卒選	幼選	保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 保育現場におけるコンピュータの利用・活用法を探る ② 目 標 ・プレゼンテーションソフトの活用 ・パソコンを知育に活用する						
授業の概要 豊かな保育実践を展開していくためにパソコンを活用する手法を学ぶ。 幼児のさまざまな学習活動を展開することにパソコンを活用する手法を学ぶ。 プレゼンテーション技法の基本を学ぶ。 3分程度の知育教材（プレゼンテーション）を作成し発表する。						

授業計画

コマ(回)	項 目	内 容
1	保育方法の基本	オリエンテーション・保育実践について・保育者としての魅力的な指導法
2	プレゼンテーション 技能	パワーポイントの基本操作（新規作成・スライド追加）
3		パワーポイントの基本操作（セクション・アニメーションと画面切り替え）
4		パワーポイントの基本操作（ノートの作成と資料の印刷）
5		パワーポイントの基本操作（スライドショーとリハーサル、保存形式）
6		保育に活用する 素材検討
7		アニメーションにするための作図について
8	素材作成実践	各自のテーマに基づく素材の調達 パワーポイントを使った知育教材の作成実践
9		
10		
11		
12	発表準備	リハーサルとノート準備
13	発表	発表 発表作品に対するコメント記入
14		
15		
定期試験	発表とその場における相互コメントの提出で代用する。	
テキスト	30時間でPowerPoint2010（実教出版）	
参考図書	なし	
教員の 評価方法	発表(40%)・作品評価(40%)・発表作品に対するコメント(20%) ※発表は必須とする。 発表作品は幼児適応性・指導性・自作内容であるか、イラストの完成度・発表の態度などで評価する。	
準備学習等 履修上の留意点	パワーポイント基本操作の授業は入力速度により回数が増加または減少することがある。 8～13単位については各自の展開となり、素材作成と教材作成が混同する。	